

株式会社Waqoo

決算補足説明資料

2026年9月期【第3四半期 連結】

2026年8月20日



代表取締役社長
佐俣 文平

変革期を越えて、成長する企業へ。

「D2Cからメディカルサポートへ」

2023年12月に始まった変革は、
3年をかけて事業の**軸そのものを入れ替える作業**でした。

2024年、新たな事業軸を確立する。
2025年、それを中核に収益構造を組み替える。

そして

2026年9月期中間期。
売上成長と収益構造の転換を同時に実現し、
当社グループは**"収益企業"**へと進化しました。

これは一過性ではなく、構造が変わったことの帰結です。
次に向き合うのは資本効率。

成長を、株主価値に結びつける。

「マーケットから評価される企業」へ、
より**速く**、より**力強く**。

再生 医療

「選択肢がある」ということ
それは、希望と同じ意味だ

18歳のとき、祖母がパーキンソン病を発症した。何もできなかった。
2021年、今度は自分が白血病になった。患者として分かった。治療の選択肢の数は、そのまま生きる希望の数だと。
再生医療は広がっている。けれど市場には、いま品質と価値が混在している。効く理由を、誰も証明しきれていない。

いま、届けている

PDF-FD—患者自身の血液から成長因子を取り出し、凍結乾燥して医療機関へ戻す。ひざの痛みと、髪の毛の悩みへ。**提携844院**、累計2万件超。**国立病院にも採用**された。美容の周辺ではなく、標準医療の入口に立っている。

守り、攻める

なぜ効いたのかが分からなければ、次の一手は打てない。だから**原理から説明**する。そこで得た技術は川上の**特許で囲い**、**出願は20件**に。学術・臨床・知財・製造を、**ひとつの会社の中で回す**。知財は守りではなく、**成長投資**だ。

向かう先

いまは、一人ひとりのための治療。だがそれでは量産もコストダウンもできない。だから**他家細胞へ**。**京大iPS細胞研究所**と認知症に、そして糖尿病に向き合う。**もっと、再生医療を身近に届ける**。

再生医療を、“期待”から“産業”へ。

今回、見ていただきたいこと

1



今期**2度目**の
上方修正

遠くを見ながら
足元でも稼ぐ

2



グループシナジーによる
更なる成長へ

成長トレンドへ
更なる挑戦を続けている

3



株主優待
制度を初導入

SBCメディカルグループの
シナジーを追求

AGENDA

- P. 5** 2026年9月期 業績予想の上方修正
- P. 8** 2026年9月期 株主優待制度の導入
- P. 10** 2026年9月期 第3四半期業績ハイライト
- P. 12** Waqoo 最新情報（IRイベント予定）
- P. 14** 業績について
- P. 19** 経営成績
- P. 24** 主要KPI
- P. 28** 成長ドライバー
- P. 32** Appendix

2026年9月期 業績予想の上方修正

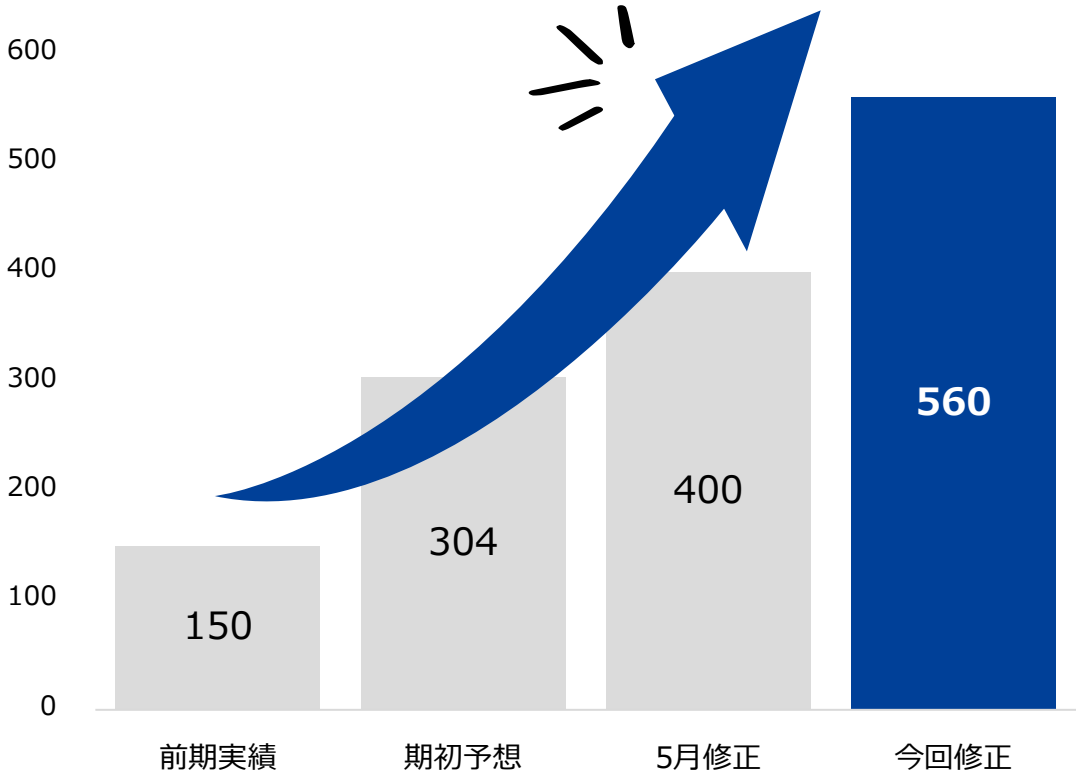


営業利益は期初予想+84.2%、経常利益は+86.5%、当期純利益は+122.0%の成長で計画。
通期での営業利益率は20.4%となり、利益率が大幅に改善。

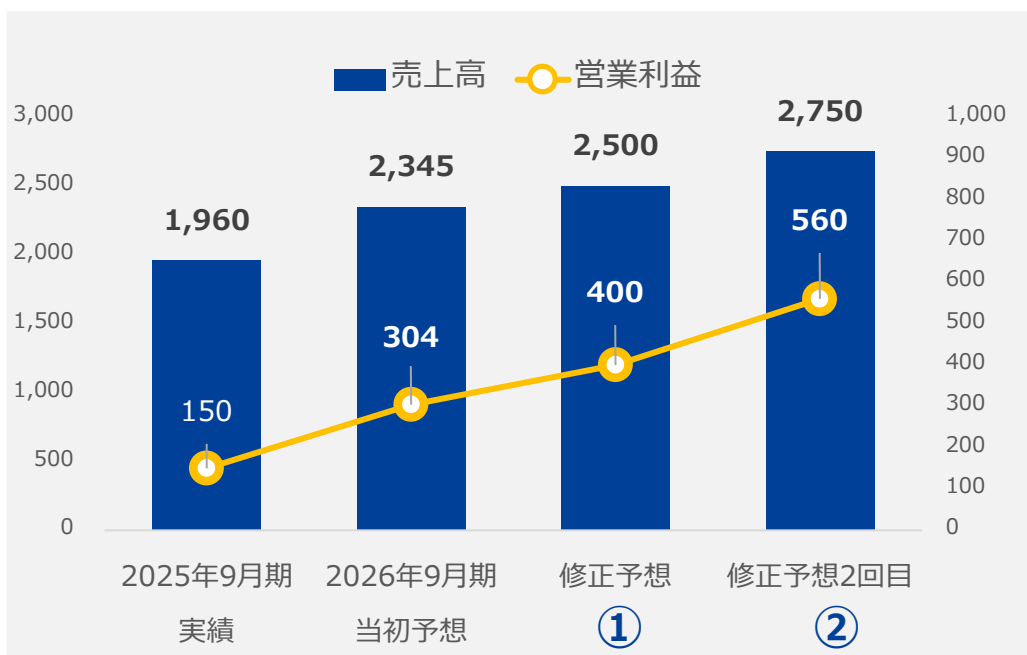
今期**2度目**の上方修正

	期初予想	修正予想 (5月時点)	修正予想 (今回2回目)
売上高	2,345	2,500	2,750
営業利益	304	400	560
営業利益率	13.0%	16.0%	20.4%
経常利益	294	390	550
当期純利益	184	250	410

営業利益は前期の**3.7倍**へ



今期2度目の 業績上方修正を発表



成長を牽引しているのは、メディカルサポート事業。

上場時の柱はD2C事業でした。いま、売上高構成比でそれを上回るのはメディカルサポート事業です。
3Q累計で64.4%。売上高13.1億円。セグメント利益3.3億円。前年同期比128.5%増の成長です。

業績予想は、今期2度目の上方修正となりました。 原動力は、SBCメディカルグループとの提携。

SBCメディカルグループは、2025年12月、大株主となりました。以来、複数の提携が動いています。想定していた立ち上がり、いずれも前倒しで進んでいます。

そして、この成長は、 一過性のものではないと考えています。

ビジネスモデルを転換し、さらなる成長に挑戦します。



×

SBC
Medical Group Holdings, Inc.

2026年9月期 株主優待制度の導入



SBCグループとの取組み強化の一環として、 **株主優待制度**を導入

優待内容

SBC湘南美容クリニックで利用できる

10% OFF クーポン

脱毛・美容施術など幅広いメニューに利用可
対象株主：100株（1単位）以上を保有

SBCメディカルグループ クリニック数

146院

※2026年6月末時点

当社は、SBCグループのクリニックに対して商品・サービスを提供しております。

株主優待制度を通じて、当社の収益の向上にもつながる設計として導入を決定いたしました。

2026年9月期 第3四半期業績ハイライト



D2C事業をキャッシュ創出機能として再定義し、**メディカルサポート事業**へ事業構造転換を実施。
海外の先進的な製品・技術の紹介・導入を推進し、**プラットフォーム型収益モデル**へ進化。

(百万円)

1,000

900

800

700

600

500

400

300

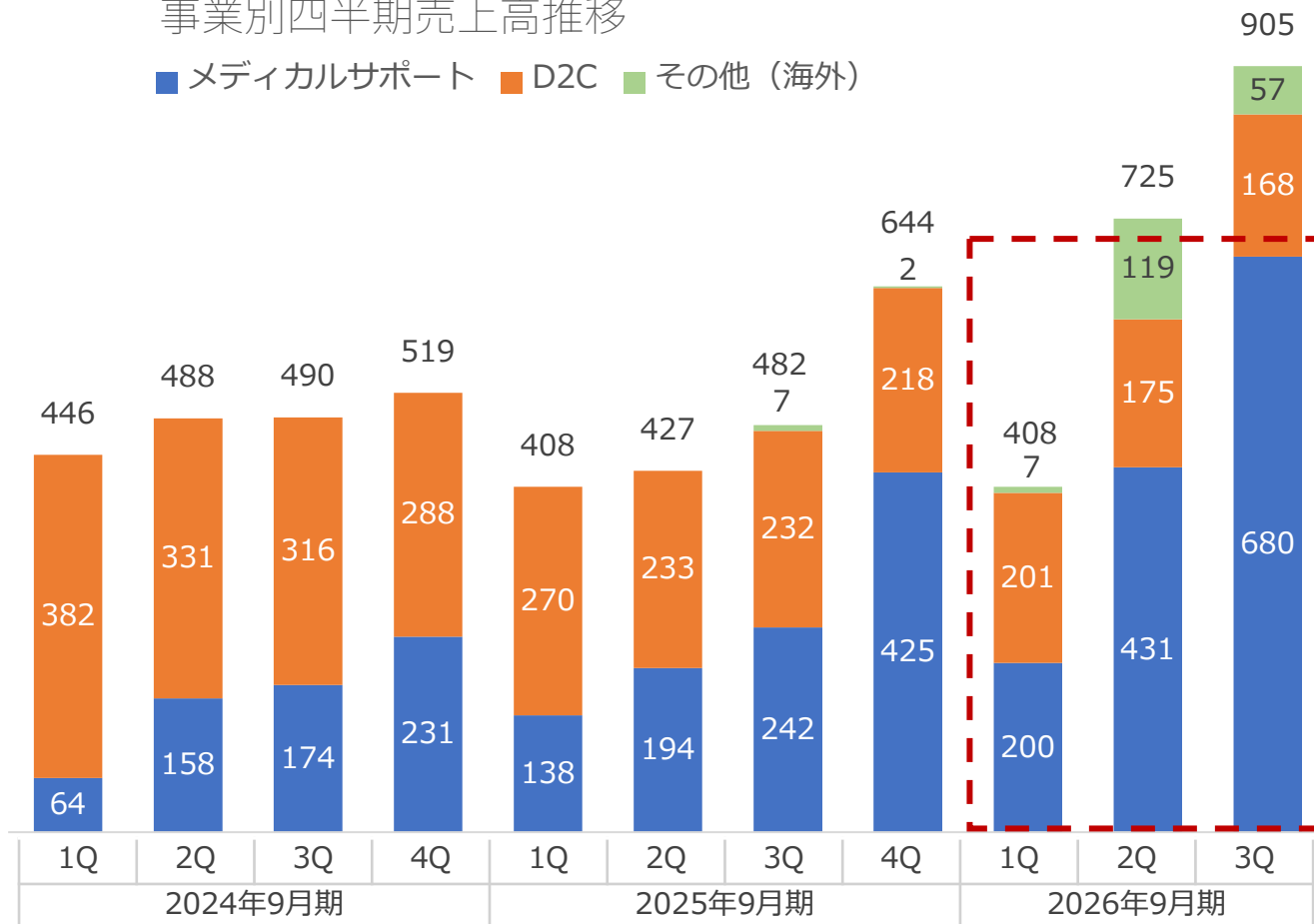
200

100

0

事業別四半期売上高推移

■ メディカルサポート ■ D2C ■ その他（海外）

2026年9月期
第3四半期累計メディカルサポート事業が
全体をけん引し売上高へ貢献

売上高

2,039 百万円

YoY
+54.9%メディカルサポート
売上高

1,312 百万円

YoY
+128.5%

2026年9月期 メディカルサポート事業が急成長

第3四半期

680 百万円

QoQ
+57.7%

第2四半期

431 百万円

QoQ
+115.3%

第1四半期

200 百万円

Waqoo 最新情報 (IRイベント予定)



機関投資家・個人投資家双方との対話機会を拡充してまいります。

8月21日(金)

2026年9月期 第3四半期決算説明会

機関投資家向け

9月1日(火)

広田証券主催個人投資家向け説明会

個人投資家向け

9月26日(土)

ストックボイス社主催IRカンファレンス@札幌

個人投資家向け

10月以降のイベント情報は、代表取締役社長 佐俣のXにて随時ご案内いたします。

<https://x.com/BumpeiSamata>



業績について



事業ポートフォリオの構造転換が業績に本格反映。前年同期の営業損失から営業利益**415百万円**へ転換し、営業利益率は**20.4%**へ。

売上高**2,039**百万円

前年同期比 +54.9%

営業利益**415**百万円

前年同期比 +448百万円

前年同期実績 △32百万円

営業利益率**20.4%**

前年同期比 +22.9pt

前年同期実績 △2.5%

四半期純利益※**392**百万円

前年同期比 +454百万円

前年同期実績 △61百万円

※親会社株主に帰属する四半期純利益

主な取り組み等

グループ施策概観

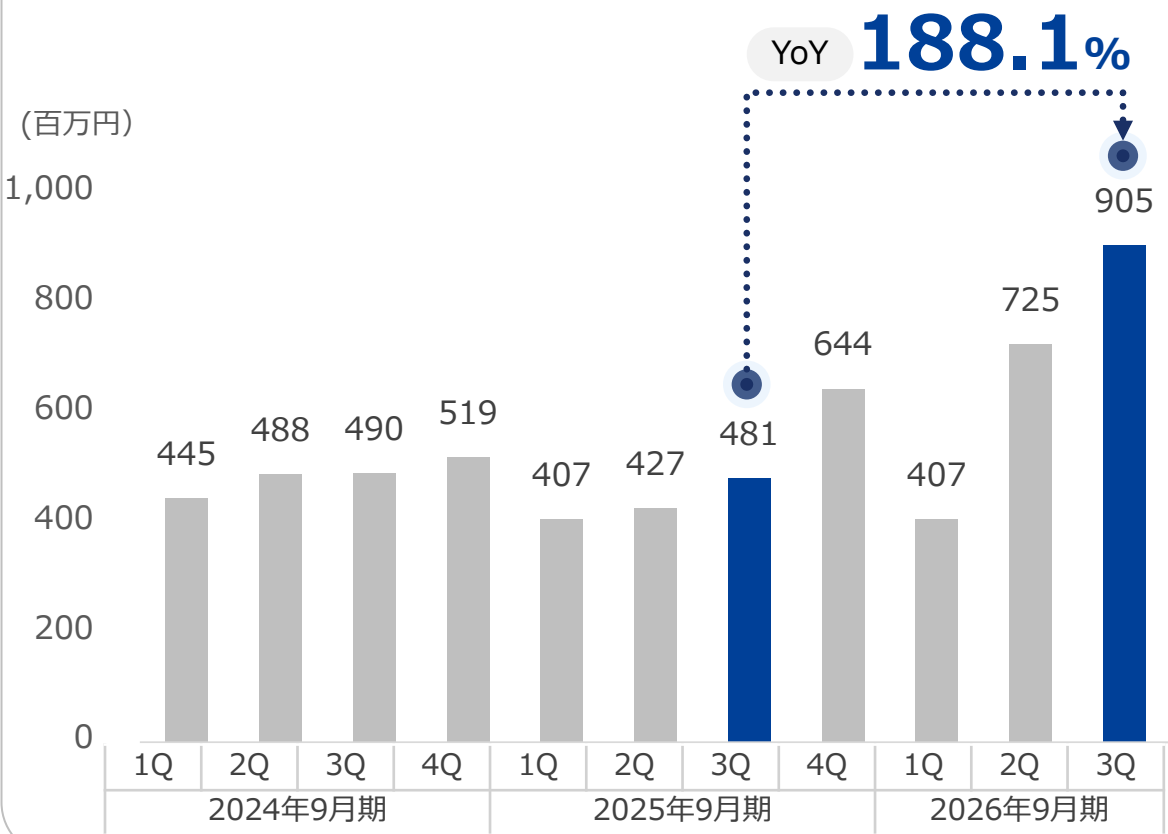
- メディカルサポート事業では、提携医院数844院・累計加工受託件数21,818件へ拡大。**ストック型収益の蓄積**により収益基盤が強化。SBCメディカルグループとの連携も一層進展。
- D2C事業においては、広告投資を抑制し既存顧客への販売強化と業務効率化を継続。「**収益性を重視した事業運営**」へ転換。

(百万円)	26/9期3Q 四半期 (26年4月－6月) 実績	増減率	26/9期3Q 累計 (25年10月－26年6月) 実績	増減率	過去実績	
		QoQ (前四半期比)		YoY (前年同期比)	26/9期2Q 四半期 (前四半期)	25/9期3Q 累計 (前年同期)
売上高	905	+24.8%	2,039	+54.9%	725	1,316
└ メディカルサポート事業	680	+57.7%	1,312	+128.5%	431	574
└ D2C事業	167	△4.2%	543	△26.0%	175	734
└ その他	57	△51.9%	182	- ※2	119	7
売上総利益	641	+23.2%	1,475	+42.2%	520	1,037
販管費	364	+4.3%	1,059	△1.0%	349	1,070
営業利益	277	+61.5%	415	-	171	△32
営業利益率	30.7%	+7.0pt	20.4%	+22.9pt	23.7%	△2.5%
経常利益	275	+61.5%	409	-	170	△33
EBITDA※1	311	+51.3%	519	- ※3	206	68
EBITDAマージン	34.5%	+6.0pt	25.5%	+20.2pt	28.4%	5.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	256	+53.2%	392	-	167	△61

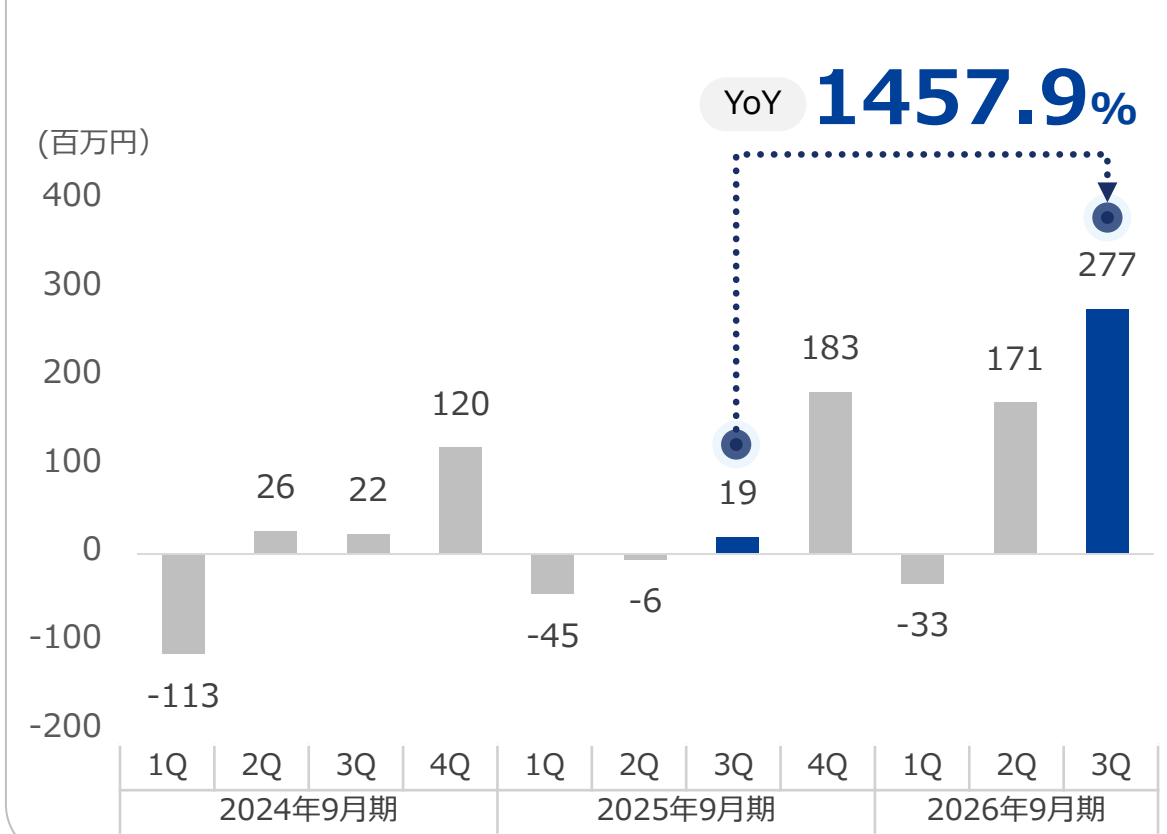
※1：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額
※2：前年同期は「海外事業部」新設前であり、セグメント区分の変更に伴い当期の区分に組み替えた数値のため、増減率の記載を省略（増減額+175百万円）。
※3：前年同期のEBITDAは営業損失にのれん償却額を加算して算出されたものであり、増減率の記載を省略（増減額+450百万円）。

売上高は前年同期比で188.1%。
営業利益はメディカルサポート事業の貢献により前年同期比で大幅増加の+1,457%の着地。

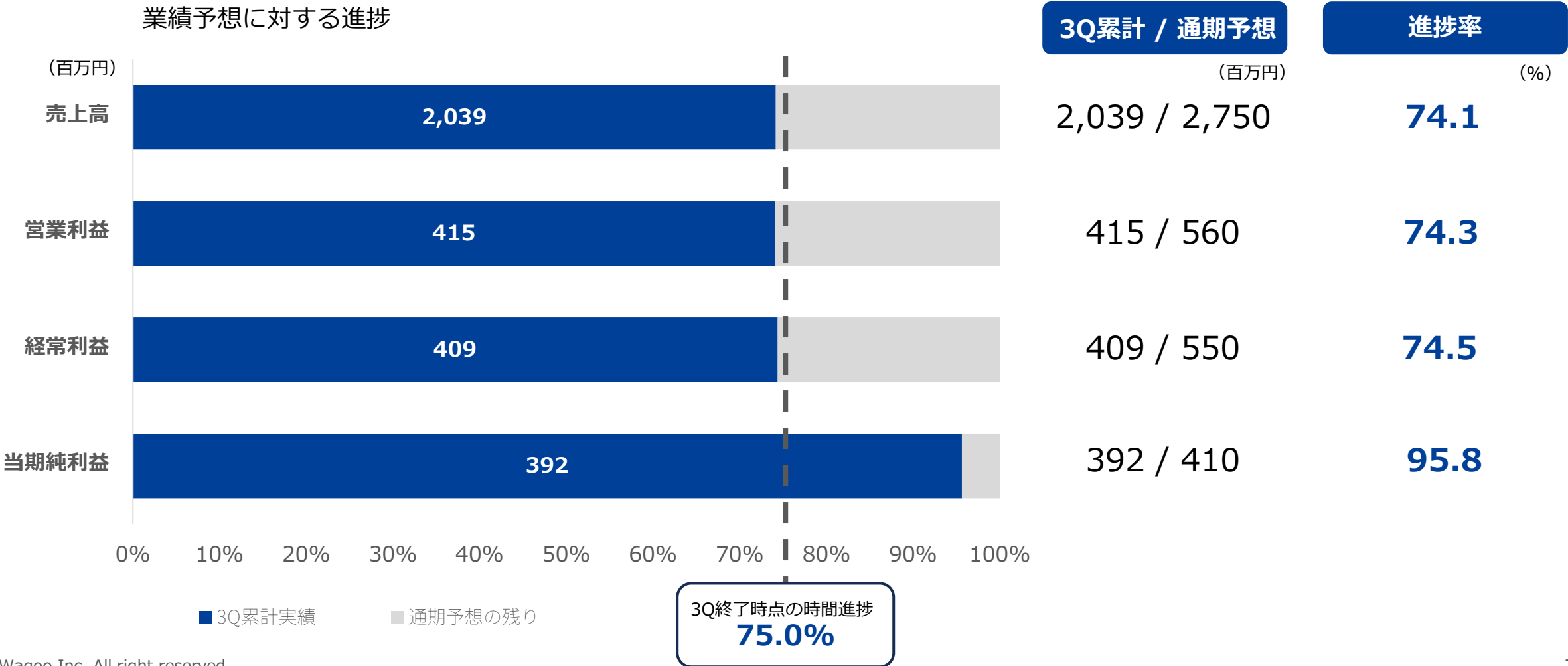
売上高



営業利益



営業損失で始まった第1四半期から大きく転換。
3四半期累計で営業利益**415百万円**。上方修正後の通期予想に対しても、**各段階利益は順調に進捗**。



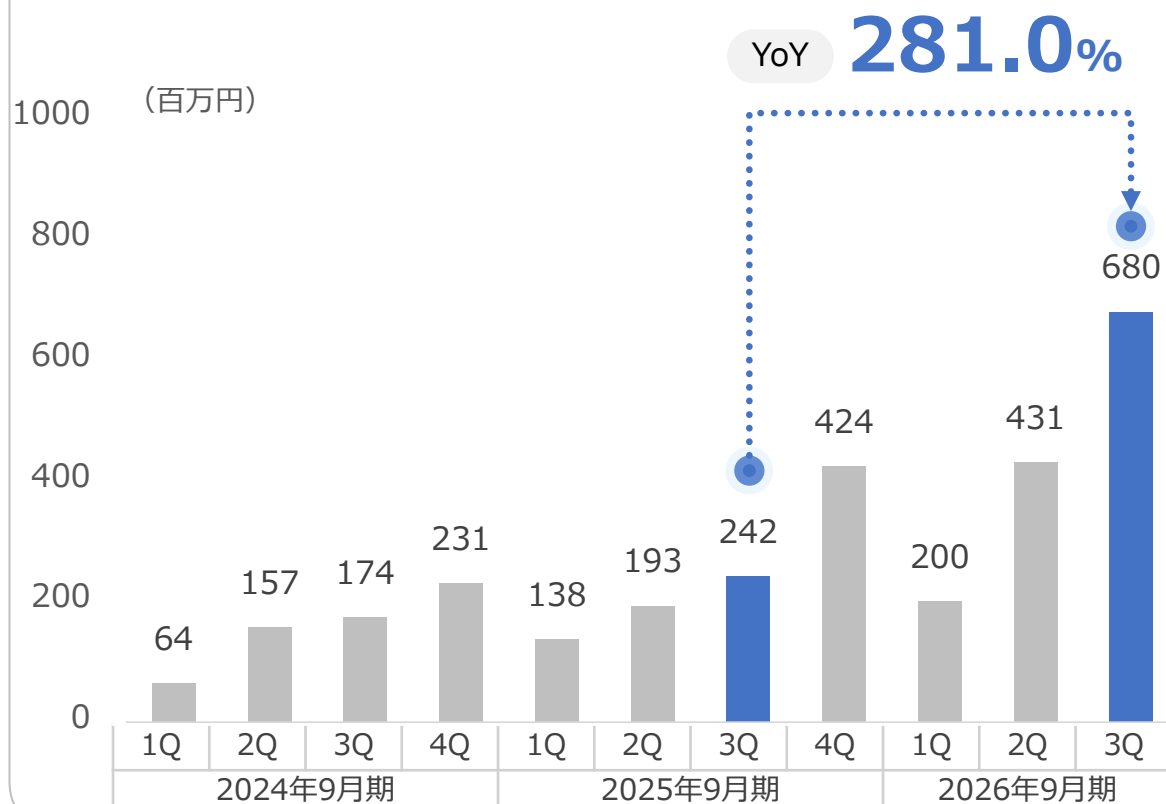
経営成績



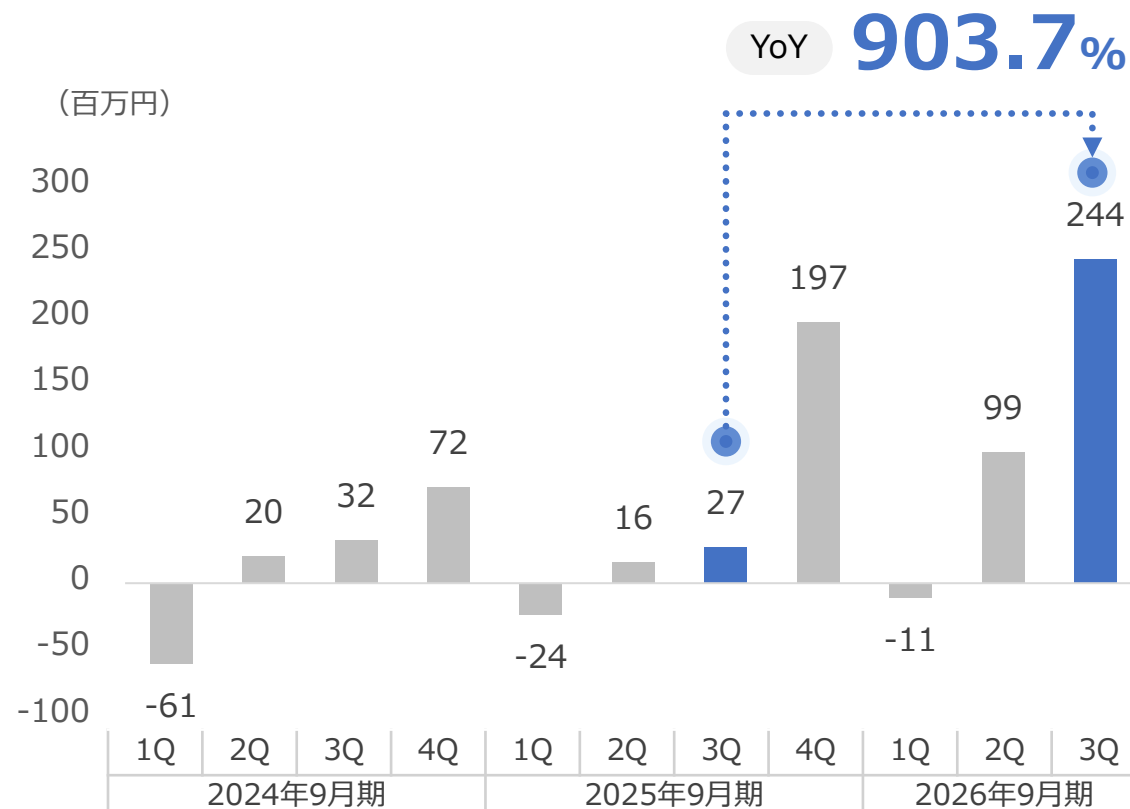
事業収益は1Q~4Qへ上昇する年次サイクルモデル。

売上高は前年同期比281.0%、セグメント利益は前年同期比903.7%と大幅に伸長。

売上高



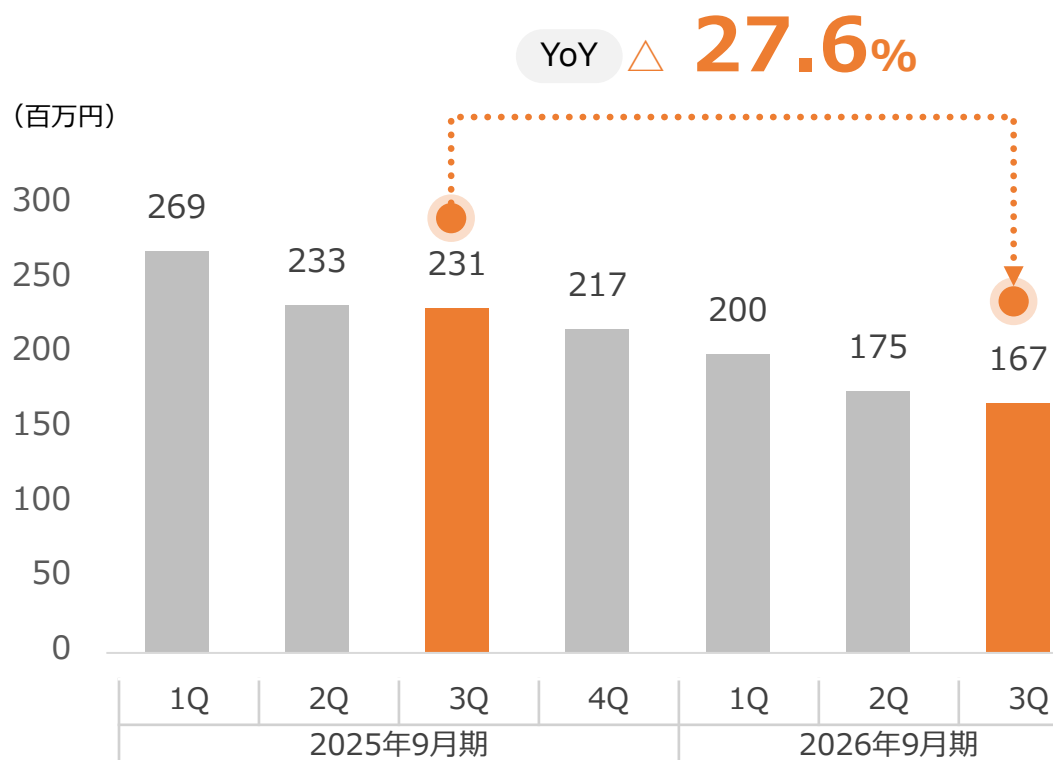
セグメント利益



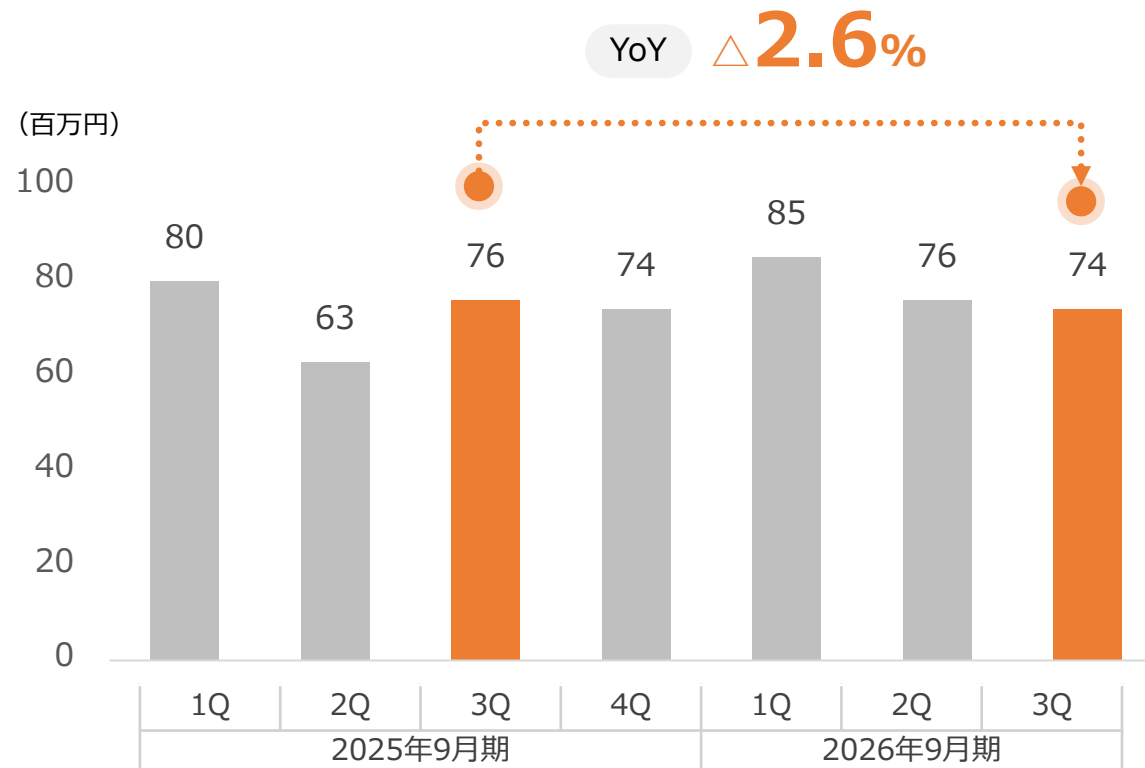
収益性重視の方針を踏襲し、コスト最適化を継続。

売上高は前年同期比△27.6%も、セグメント利益は△2.6%と同水準を維持。

売上高

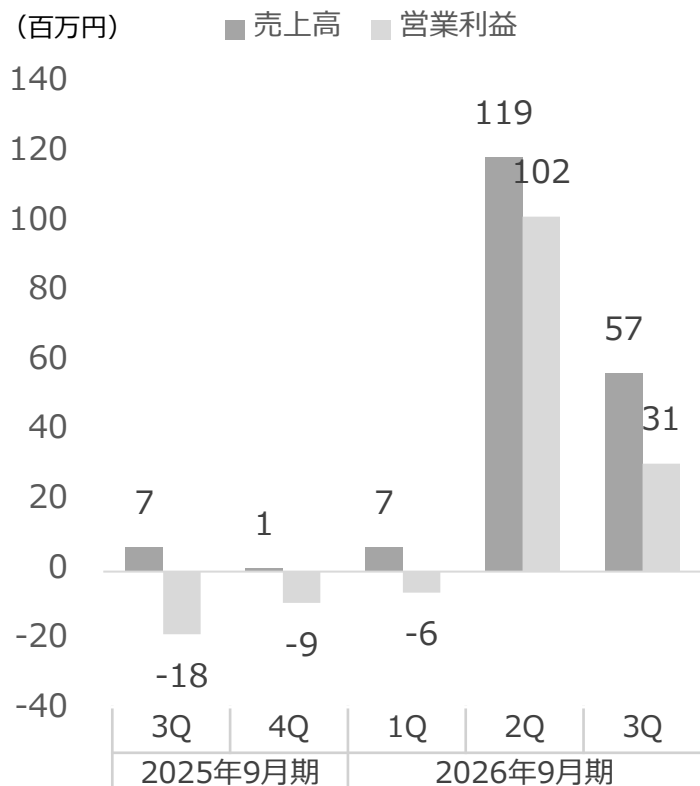


セグメント利益



提携医院のニーズに基づき、海外の**先進的な製品・技術の紹介および導入**をするビジネスモデル
海外メーカーとの早期関係構築で、**ブランド認知、顧客基盤の確立、高価格設定、技術的優位性**を獲得

経営成績



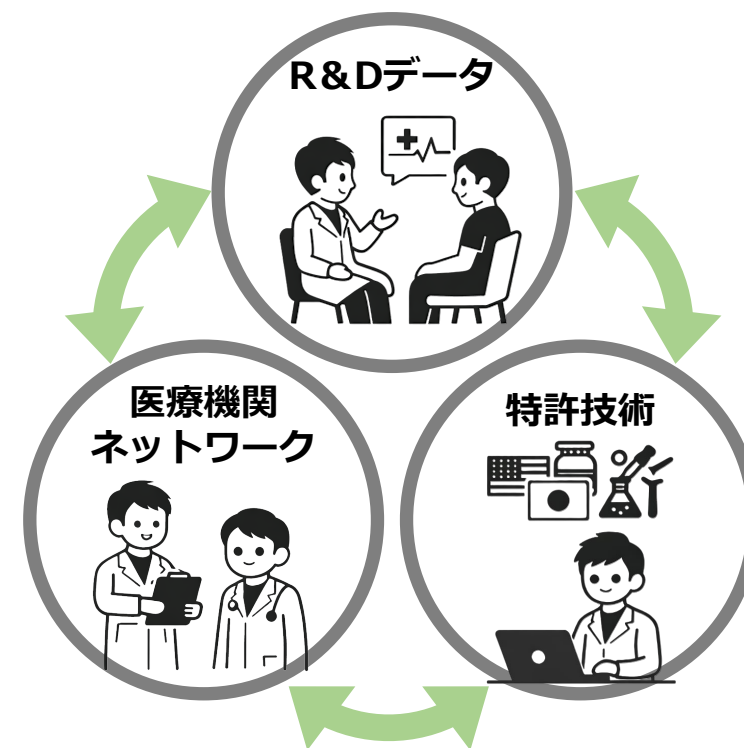
当社のバリュープロポジション

成長拡張性

海外メーカーとの
早期関係構築による
先行者利益を獲得

既存基盤を活用した
周辺領域への横展開が可能な
拡張型モデル

競争優位性・参入障壁



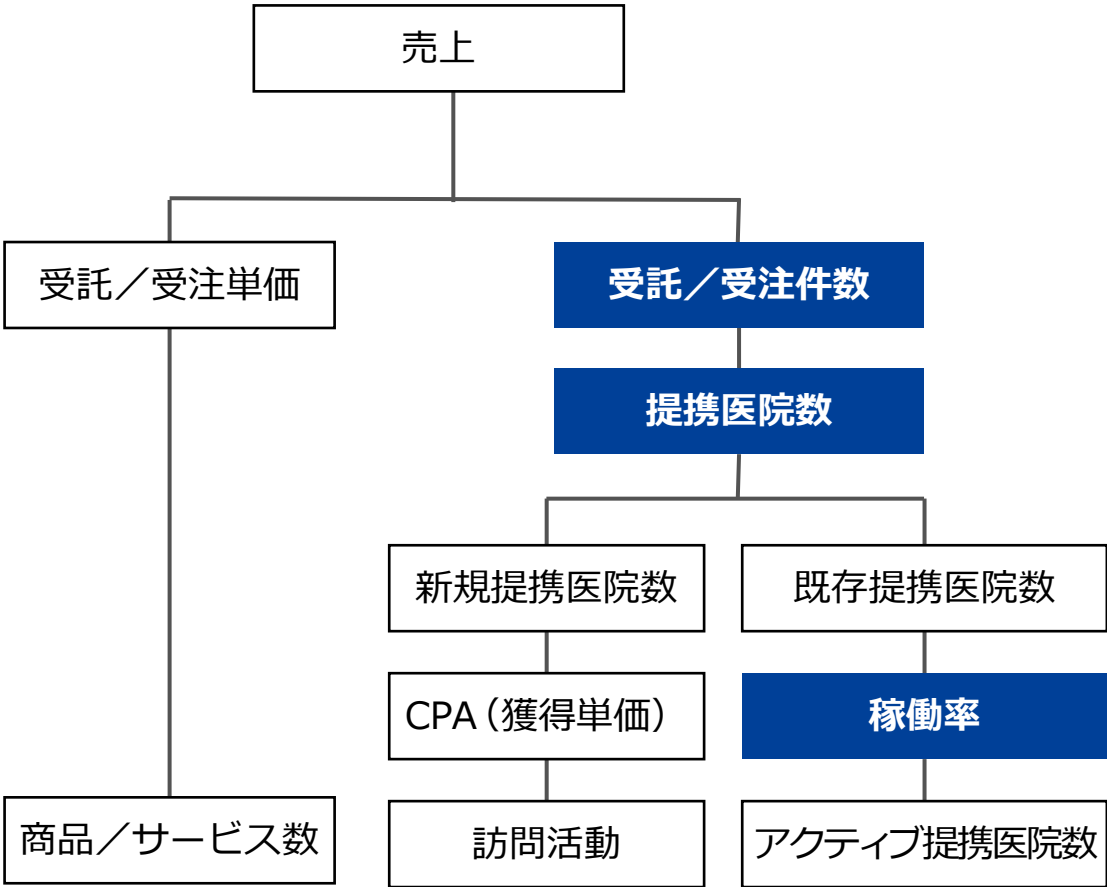
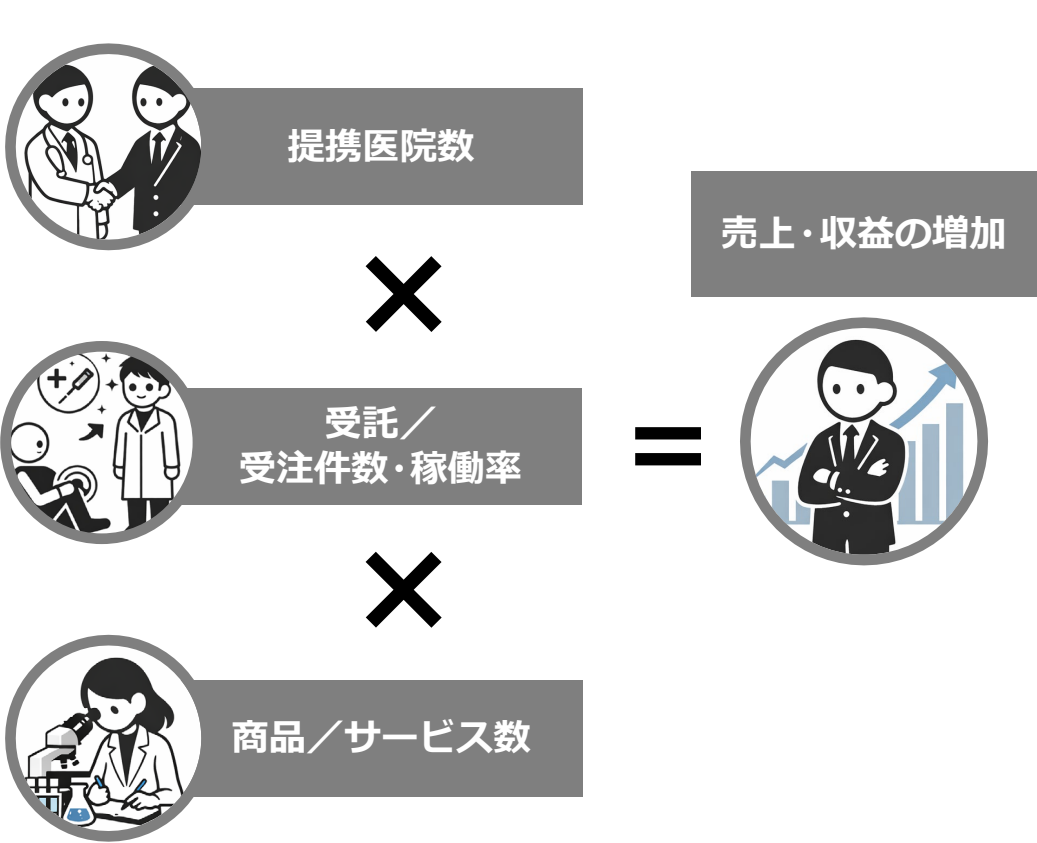
成長投資を継続しつつ、財務基盤が一段と強化。
自己資本比率は67.8%へ上昇、利益剰余金は△338百万円から+54百万円へ転換。

(百万円)	2025年9月期 期末	2026年9月期			増減
		1Q	2Q	3Q	前年期末比
資産合計	3,199	3,062	3,397	3,683	+484
流動資産	1,781	1,672	2,043	2,356	+574
固定資産	1,417	1,390	1,354	1,327	△90
有形固定資産	375	374	372	382	+6
無形固定資産	1,011	980	949	919	△92
投資その他の資産	29	34	32	25	△4
負債合計	1,107	993	1,154	1,171	+64
流動負債	691	615	811	864	+172
固定負債	415	377	342	307	△108
純資産計	2,091	2,069	2,243	2,511	+420
利益剰余金	△338	△369	△202	54	+392
負債・純資産合計	3,199	3,062	3,397	3,683	+484
自己資本比率	65.1%	67.1%	65.6%	67.8%	+2.7pt

主要KPI



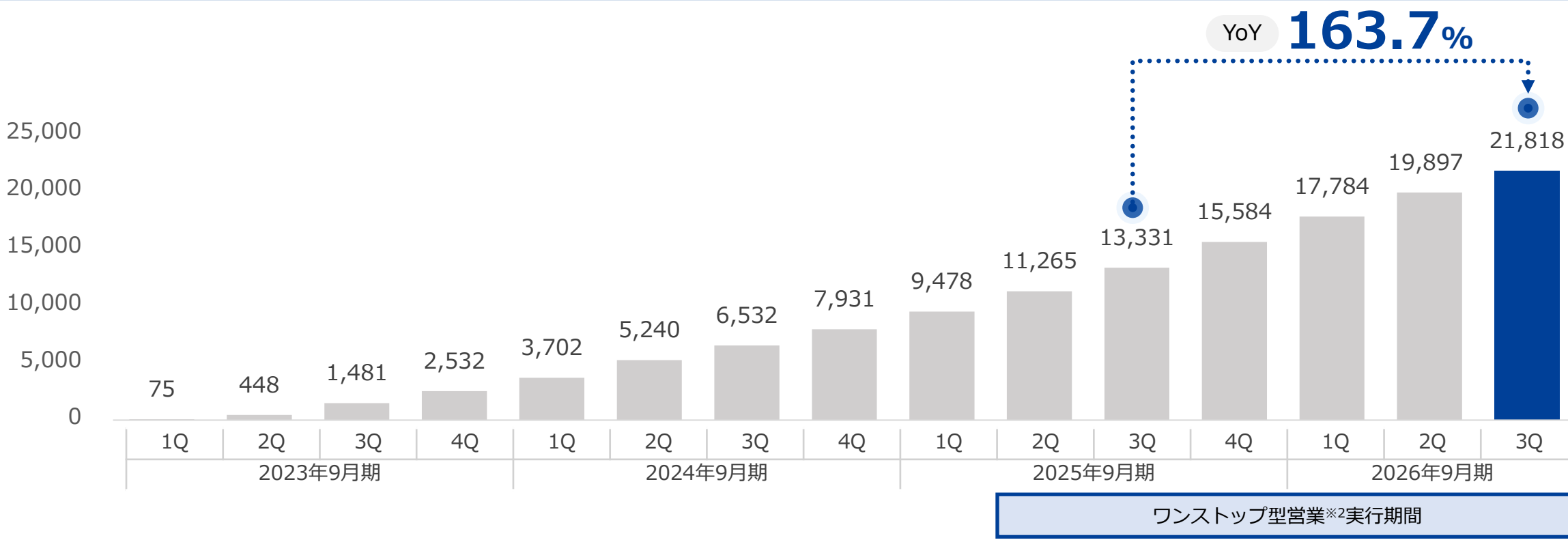
当社の事業モデルは「一時的なブーム」ではなく、医療機関との継続取引に基づくストック型モデル
「提携医院数の増加」×「1日あたりの平均加工受託件数（稼働率）の増加」＝売上収益の増加。



※Plasma Derived Factor-Freeze Dry : 血漿由来因子治療

血液由来加工サービス「PDF-FD」※1 の加工受託件数（累計）は**20,000件を超過**。
前四半期比で+1,921件と高い成長を達成。1院あたりの加工件数が増進。

加工受託件数の推移（累計）



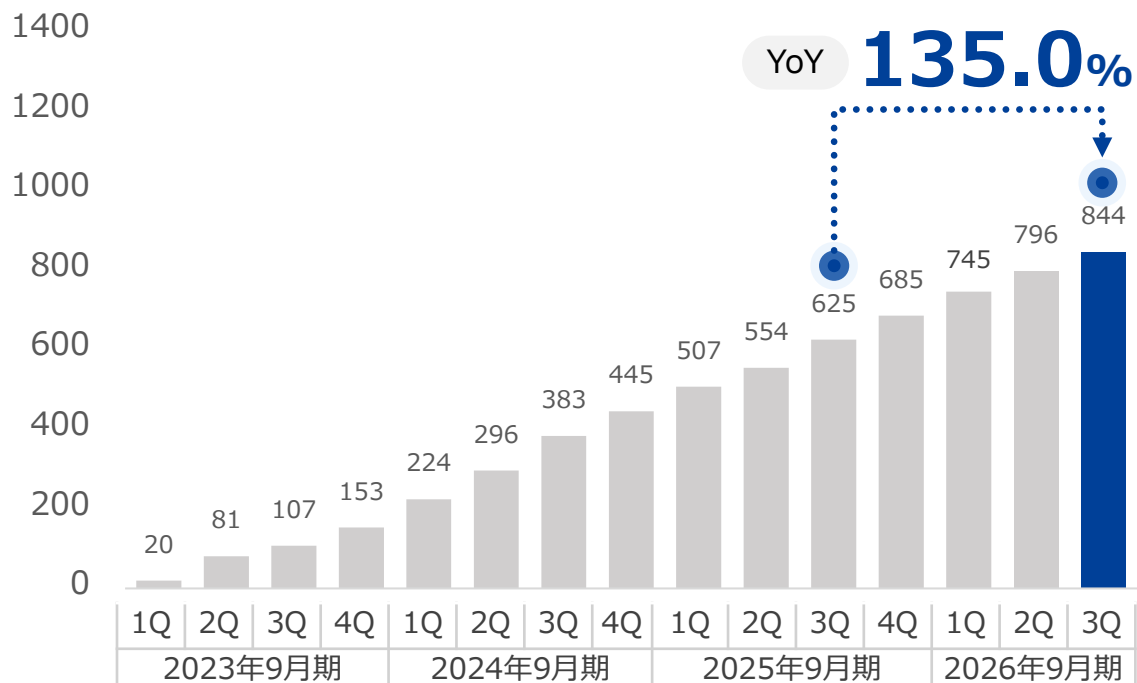
※1 Plasma Derived Factor-Freeze Dry：血漿由来因子治療

※2 従来複数の担当で分担していた活動を、担当者一人で新規契約からCS（PDF-FDを最大限に活用できるように支援する活動）までを行う営業スタイルのこと

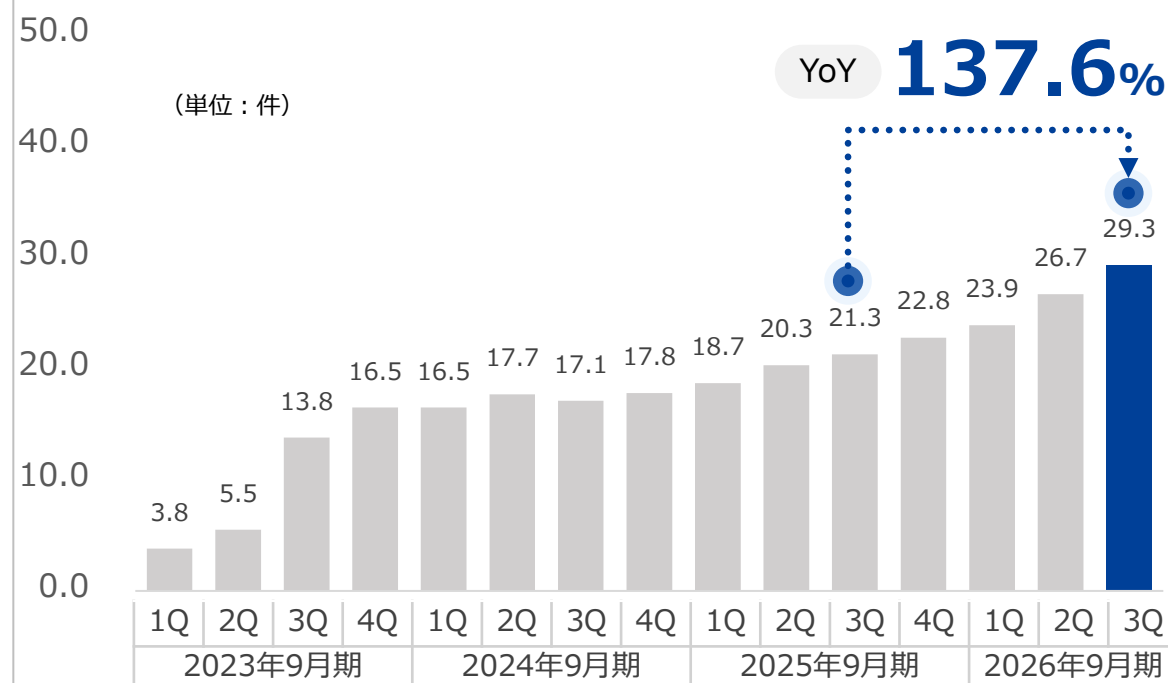
血液由来加工サービス「PDF-FD」※1 の提携医院数（累計）は**844院達成**

血液由来加工サービス「PDF-FD」の1日あたり平均加工受託件数は、**29.3件**となり過去最高値を更新

提携医院数の推移（累計）



1日あたり平均加工受託件数



ワンストップ型営業※2実行期間

※1 Plasma Derived Factor-Freeze Dry：血漿由来因子治療

※2 従来複数の担当で分担していた活動を、担当者一人で新規契約からCS（PDF-FDを最大限に活用できるように支援する活動）までを行う営業スタイルのこと

成長ドライバー



2025年12月26日「支配株主等に関する事項について」にて開示。

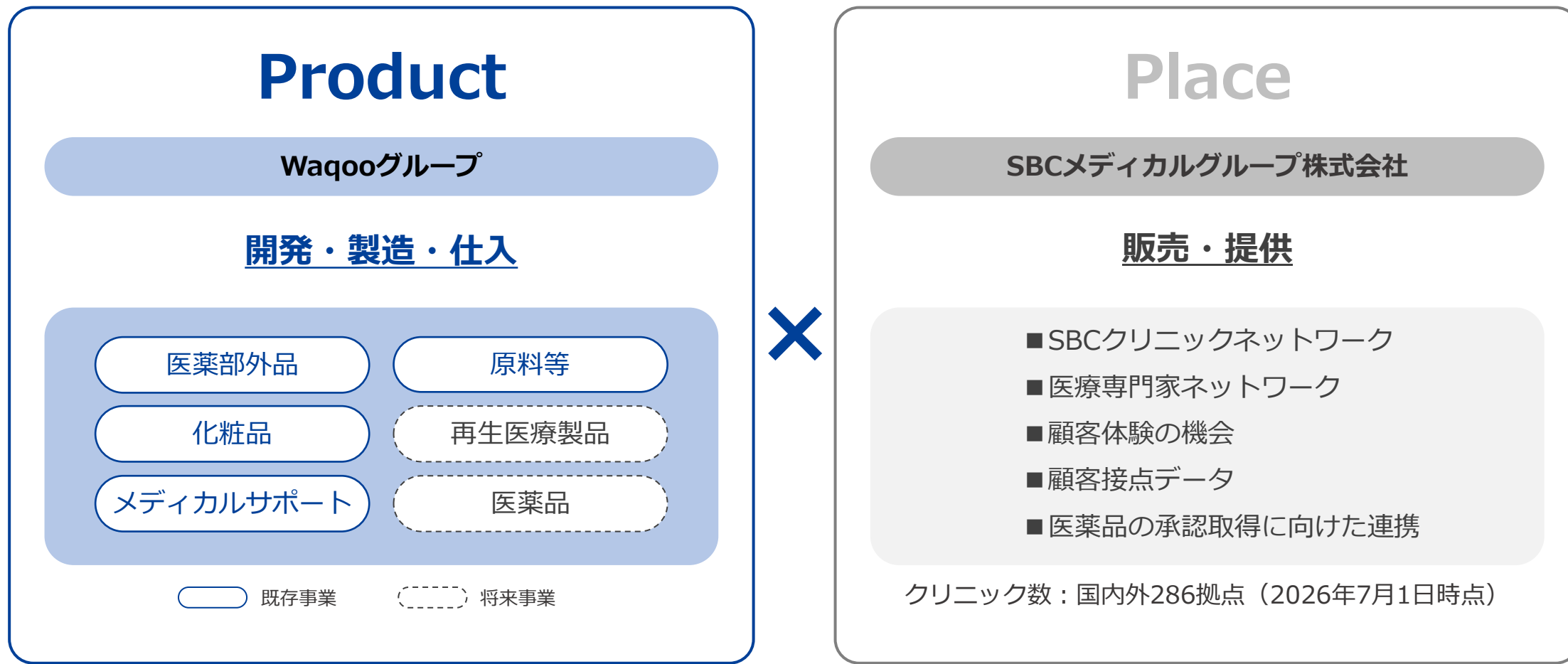
SBCメディカルグループ株式会社の当社株式保有割合が50%超となり当社親会社に該当。



×

SBC
Medical Group Holdings, Inc.

グループで創る4P戦略。株式公開買付けを通じた資本業務提携により、持続的な成長基盤を構築。



両社共創体制による当社の成長加速とSBCメディカルグループの競争力強化を実現。

- 1 製品企画・開発における協業
- 2 販売チャネルの拡大とクロスチャネル戦略
- 3 メディカルサポート事業の強化・提携医院ネットワーク拡大
- 4 マーケティング効率・顧客管理（CRM）領域での協業による収益性改善
- 5 再生医療・将来技術領域での共同研究及び商品・メニュー開発
- 6 SBCグループのクリニックネットワークを生かした販路拡大
- 7 未承認医薬品・未承認医療機器の共同研究及び開発
- 8 コスト競争力の強化



今中間期において、特に②、③、⑥について
両社協議し連携開始



今後、新製品・サービスの開発において**さらなる深耕、協働**を計画

* 2025年12月26日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」より抜粋

Appendix



代表取締役社長 佐俣 文平

<https://x.com/BumpeiSamata>

当社代表の佐俣文平は、再生医療領域に関して広い知見を有し、「細胞培養プラットフォーム」を構成する各要素の開発実績やスキルを有しています。

学術論文

【細胞治療】

- 大脳皮質神経細胞を純化するためのL1CAMマーカー同定に関する研究 (DOI: 10.3389/fncel.2020.00031)
- ドパミン神経細胞を純化するためのLRTM1マーカー同定に関する研究 (DOI: 10.1038/ncomms13097)
- ドパミン神経細胞を純化するためのCORINマーカー同定に関する研究 (DOI: 10.1016/j.stemcr.2014.01.013)

【移植細胞の機能強化】

- 障害後の脳内成分を利用することで細胞移植治療効果を向上させる研究 (DOI: 10.1093/stcltm/szae066)
- 細胞移植治療に既存薬を併用することで移植細胞の機能が向上する研究 (DOI: 10.1002/jnr.24668)
- 細胞移植治療に既存薬を併用することで移植細胞の機能が向上する研究 (DOI: 10.3389/fncel.2013.00011)
- 運動後の脳内環境が移植細胞の機能向上に寄与する研究 (DOI: 10.3233/JPD-191755)
- 細胞移植にホルモン薬を併用することで移植細胞の機能向上に寄与する研究 (DOI: 10.1016/j.stemcr.2016.02.008)

特許権等知的財産権の取得(申請含む)

- 幹細胞培養上清液およびその製造方法 特願2024-107235
- 幹細胞培養上清液およびその製造方法 特願2022-130872 (特許第7520397号)
- 細胞の培養上清を生産する方法 特願2023-207564 (特許第7468955号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2021-131135 (特許第7282304号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2019-085612 (特許第6933843号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2015-535520 (特許第6558580号)

Waqooグループは、以下のMissionおよびVisionの実現により、
社会に貢献しながら、持続的な成長を目指します。

Mission（存在意義・使命）

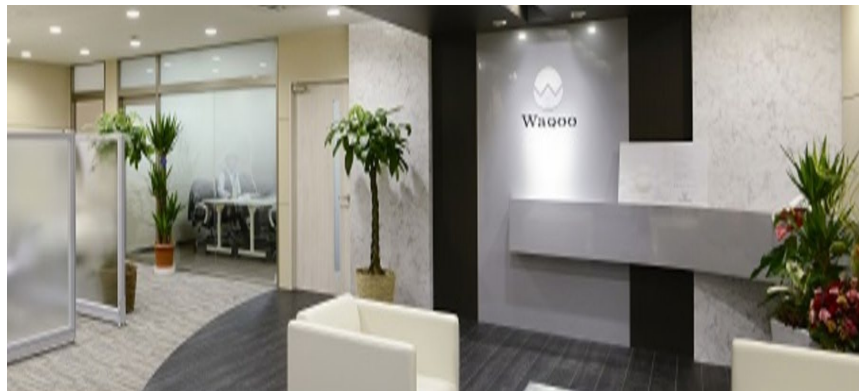
自国の未来に希望を創る

Vision（目指す姿・状態）

**細胞^{ヒト} = 人類の可能性を最大限に引き出し、
悩める人に選択肢を提供する**

企業概要

会社名	株式会社Waqoo
設立	2005年12月2日
資本金	5,966万円（2026年3月末現在）
代表者	代表取締役社長 佐俣 文平
本社	東京都世田谷区上馬2-14-1
事業内容	1. メディカルサポート事業 2. D2C事業
従業員数 （連結）	101名 （2026年7月1日末時点/産休・育休者含）



沿革

2005年12月	● 東京都文京区に設立、コマース事業を開始
2007年4月	● 代表取締役社長 井上 裕基（現会長） 就任
2014年4月	● 化粧品「HADA NATUREクレンジング」の販売を開始
2015年10月	● 株式会社Waqooに商号変更
2021年6月	● 東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース）に株式を上場
2022年8月	● SBCメディカルグループ株式会社と業務提携契約を締結
2023年6月	● 薬用炭酸ヘッドスパ育毛剤「sodatei（ソダテル）」販売開始
2023年11月	● セルプロロジャパン株式会社との株式交換契約を締結
2023年12月	● 代表取締役社長 佐俣 文平 就任
2025年12月	● SBCメディカルグループ株式会社による当社株式に対する公開買い付けの実施により、SBCメディカルグループ株式会社の子会社となる

当社連結子会社セルプロジャパン株式会社の知財戦略
～知財を“守り”ではなく“攻め”の成長投資として活用～



出願中/登録済み特許一覧

タイトル	出願件数	登録件数	登録番号	対象マーケット
細胞培養方法および培養上清の製造方法	4件	1件	7717413	医療・美容
細胞の培養上清を生産する方法	4件	1件	7468955	医療・美容
無細胞系血漿又は血清の製造方法	3件	1件	7584176	医療・美容
幹細胞培養上清液およびその製造方法	1件	1件	7520397	医療・美容
他出願中案件	11件	－		
合計	23件	4件		

※国際特許出願（PCT）、分割出願などによる戦略的な特許出願を進行中

【ご注意事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

【IRに関するお問い合わせ】

株式会社Waqoo IR担当 E-mail : ir@waqoo.jp